

わんにゃん通信

H. 24
9月



まだまだ暑い日が続いているが、朝夕は夏の終わりが近付いているのを感じます。今年の夏は猛暑日が多かったですね。私の部屋にはエアコンがないので、暑さとの戦いの日々でしたあ～(ーー;)

これからは体調を崩しやすい季節の変わり目になりますので、体調管理に気を付けてくださいね。

今月はワンちゃんの予防のお話です。犬に感染する寄生虫やウイルスによる伝染病には危険なものがたくさんあります。どんな寄生虫やウイルスがあなたのワンちゃんを狙っているのか、正しい知識を



ノミ・ダニ

寄生虫

ノミやダニに吸血されると、かゆみに悩まされるだけではなく、貧血の原因となります。ノミアレルギー性皮膚炎を起こすと激しいかゆみと湿疹、脱毛などの症状が見られます。



フィラリア

蚊が媒介してフィラリラに感染すると、運動を嫌がる、激しい呼吸困難、腹部の膨張などの症状がみられ、放置すると死に至ります。蚊の活動開始 1 カ月後～活動終了後 1 カ月後まで毎月 1 回予防薬を飲ませます。(唐津市は 6 月～12 月まで。)



副作用の関係で飲ませる前にフィラリアにかかっていないかの血液検査が必ず必要だよ！

狂犬病

犬、人だけでなく哺乳類すべてに感染し、発症すればほぼ 100% 死亡します。最近、海外で感染犬に咬まれた日本人が帰国後、発症・死亡する事例があり、その恐ろしさが再認識されています。



狂犬病ワクチンで予防できる病気だよ！

生後 91 日後のワンちゃんは市区町村への「登録」と年 1 回の「狂犬病予防接種」が法律で義務付けられています。

犬のジステンパー

激しい咳、高熱、目やに、鼻水が出て、元気や食欲がなくなり、嘔吐や下痢もします。死亡率の高い病気で、助かっても神経系が侵され、麻痺などの後遺症が残る場合があります。



犬アデノウイルス 1型感染症（伝染性肝炎）

急性の肝炎を起こし発熱、腹痛、嘔吐、下痢が見られ、目が白く濁ることもあります。子犬が感染すると、無症状のまま突然死することも。



犬アデノウイルス 2型感染症（呼吸器病）

発熱、食欲不振くしゃみ、鼻水の他、短く乾いた咳がみられ、肺炎などの慢性呼吸器疾患です。

伝染力が非常に強く治りが悪い！



犬パラインフルエンザウイルス感染症

風邪症状に見られ、混合感染や二次感染が起こると重症になり、死亡することも。伝染性が非常に強い病気です。



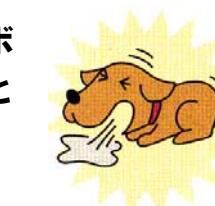
犬パルボウイルス感染症

激しい嘔吐、下痢を起こし、食欲がなくなり、急激に衰弱。重症になると脱水症状が進み、短時間で死亡することもあります。伝染力が強く、死亡率が高い病気です。



犬コロナウイルス感染症

成犬の場合は、軽度の胃腸炎で済むことが多いのですが、犬パルボウイルスとの混合感染では重症化することも。子犬の場合は嘔吐と重度の水溶性下痢を引き起こし、突然死することもあります。



犬のレプトスピラ感染症

黄疸出血型：発熱、嘔吐、黄疸、歯肉からの出血などが見られ死亡率も高いです。

人畜共通
感染症な
のです！



カニコーラ型：発熱、筋肉痛、脱水症状などが現れ、尿毒症になり2~3日以内に死亡することがあります。



これらは、
5種混合ワクチン
8種混合ワクチン
で予防できる病気
なんだよ。

定期的なケアで、危険な
寄生虫やウイルスから、
ワンちゃんを守ってね。

